

正誤表

第1分冊

- 8頁2行 不一致の場合 → 非健全者の場合
- 8頁9-10行 物事の本質上可能になるであろうような → 当然／完全利用するときの → 完全利用する際の
- 8頁17行 快樂の追加分によって増加できるより → 快樂の追加によって増加されるより
- 9頁2行 その生産物のどんな部分 → それらのどんな部分
- 9頁14行 富もありえない → 富もありえないから
- 10頁9行 区別を示す → その違いを示す
- 14頁10行 セックスはお互いを → 性別は異性を
- 49頁註2(上段) 幼児 → 幼少時
- 54頁第6節 事物の自然が許容する → 当然、
- 54頁12行 利用 → 利用
- 56頁10行 たんなる → たんなる
- 59頁6行 管理する → (「する」を削除)
- 65頁6行 誤った → 誤った
- 109頁14行 大きいほど → (「ほど」を削除)
- 157頁註(5) ベンサム氏の論文集から → ベンサム氏の草稿から
- 215頁9-10行 職人、道具拘禁法／買い占め、売り惜しみ禁止法 → 職人・道具拘禁法／買い占め・売り惜しみ禁止法
- 219頁12行 矛盾しない → 矛盾する
- 234頁8行 支持されるべきでない → 支持されるべきではない
- 251頁15行 三五年 → 二五年
- 279頁15行 比較、推理能力 → 比較・推理能力
- 396頁6行 加わってっていく → 加わっていく
- 325頁行註(11) 不的確 → 不適格
- 327頁行 註(11) 的確 → 適格

第2分冊

- 43頁13行 余り詳細に立ち入らなければ、おそらく不利益にはならない → あまり詳細に立ち入らなければおそらく無益ではないかもしれない
- 145頁14-17行 「それは私有財産を支配することで、強大になった家庭支配を継続しよ

うとする偏見と独裁制とによって、有益な心身の教育の発達を妨げる。そして、それはまた、科学と芸芸の改善を、個人的利得に役立つように、秘匿しなければならないので、一般的知識の発達をも妨げる。」に変更

149 頁 9 行 任務分担 → 役割分担

155 頁 17 行以下 「それは、……一般的知識の発達をも妨げる」 → 「それは、個人の財産を支配することによって抵抗することができないようになった継続的な家庭管理の偏見と専制支配によって、有益な心身の教育の発達を妨げる。そして、それは、科学、芸術における進歩を、個人的利得によって貢献させるために、秘匿することが不可欠なので、一般的知識の進歩をも妨げる。」

196 頁 12 行 漸次的傾向 → 漸進的傾向

240 頁 11 行 営業利益あるいは → ケチな営業利益あるいは

273 頁 10 行 共同所有と享受 → 共同の所有と共同の享受

290 頁 4 行以下 「程度では寸分変わらず……大成功によってのみ軽減された。」 → 「まったく同じ動機だが、程度がより弱く、言いようがないほどより弱くて、安全でない制度の成り行きでは努力の甲斐もなく、不自然な抑圧的な動機によって台なしにされたり、幸運な出来事と絶え間ない労苦とが同時に発生したりするために、ギャンブルの思いがけない大成功によってしか救われない。」

319 頁 2 行 共同、所有と支出 → 共同の所有と共同の支出

367 頁 7 行 「それらと相殺される……だろうか。」 → 「これら協働社会にとっては、せいぜい相殺される程度ではないだろうか。」

465 頁 8 行 「生産の総計から……ほとんどないであろう。」 → 「生産の総計からみれば、一握りの蓄積などほとんど無きに等しいであろう。」

492 頁 12 行 「みずからに対しても余り利益に」 → 「あまり利益に」

498 頁 2 行 「一九世紀初」 → 「一九世紀初葉」

事項、人名・地理索引について 数字の立体は第1巻、斜体は第2巻のページを示す。

事項索引 「平等な安全(公平な安全)」の項: 137, 140-146, 152, 154, 161, 165-171, 173, 181, 196, 225, 226, 230, 239, 252, 253, 245, 373, 374, 382, 384, 392, 395, 403, 404, 406, 414, 415, 429, 450, 460-464, 467, 468, 470, 475, 477, 480-482 を追加